

中国残留邦人等への理解を深める集い

中国残留邦人等への理解を深める集いは、11月15日を深める集いは、11月15日60人余りが参加して開かれ、大阪府連から8名が参加しました。はじめに辻本理事長が6名の支援相談員と、帰国者センターを運営しています、現在帰国者280名のお世話をしているが、73才から99才までの70%の184名は要介護で、高齢化が進んでいる現状を紹介されました。

「帰国者と市民の会」の依田弁護士が、中国残留邦人等への支援策が成立するまでの経緯を講演されました。

中国残留婦人の久保英子さんは15歳で兄を頼つて満州へ、終戦時は山の中をさまよいながら逃げました。現地で中国人と結婚、1958年最終帰国時には、中国への恩を感じ夫の元に残りました。15歳で渡満したので日本語はしっかり覚えており、文革ではひどい目にあつたが、文革以後は日本語を教えてほしいと言われ7~8年を教えていたこともお話をされました。

水餃子に舌鼓 元気に広場ダンス

外交回復後1988年に帰国したが困難を伴つたことなど、92才とは感じさせない記憶力で話されました。

続いて食文化交流会では本場のおいしい水餃子などに舌鼓を打ちました。一口スピーチでは帰国者一世・二世の言葉や習慣の違いを埋めようと頑張る介護関係者たちが挨拶し、恒例の広場ダンスには毎回のことながら、そのパワーに圧倒されました。つどいは会の運営がスムーズで、とても有意義で楽しいひと時を過ごしました。

西支部学習会 徵用工問題の視点も解説

講演では「古代の渡来人から中世の倭寇、近世の朝鮮通信使江戸時代の朝鮮通信使の大流れを説明。江戸時代の二百数十年間は北東アジアの平和な時代であったが、明治以後1945年まで戦争が続いた。

日清戦争のきっかけは1882年の日本公使館襲撃、84年の甲申事変、朝鮮への進出を図る日本と介入を強める清国。94年の東学農民戦争を機に日本軍8000人が居座り、日清戦争のスタートになつた。元々の発想は吉田松陰の『国

敗戦まで50年間戦争が続いた。徴用工問題の視点としては、謝罪・お詫び・反省・責任が明確でなく、個人の請求権は消滅していないことは日韓の政府や最高裁も言明。植民地支配の被害者がないがしろにされたり、そのパワーワーに圧倒されましたが。つどいは会の運営がスムーズで、とても有意義で楽しいひと時を過ごしました。

南京の記憶をつなぐ映画祭

実行委員会形式で、ドキュメンタリー映像の上映に取り組んできました。今回は南京の記憶を明らかにしていくために開催されました。

12月2日、南京の記憶をつなぎ映画祭が行われ、3部構成で映画上映され600名が鑑賞しました。この映画祭は、過去の歴史を正面から見据え、同じ過ち団体や個人が参加する

「空海ロード 日中が交流」の見出しが飛び込んできた。日中埠が取り組もうとしていることがこの言葉に集約される。そして、訪問した空海祈念堂の石碑に名前があつた静慈圓氏が登場する。朝日新聞夕刊の「高野山異聞」連載(4)である。

中国を訪ねる旅

「静さんは、日本密教が専門の高野山大学の名誉教授でもある。空海を乗せた遣唐使船の船は、現在の福建省霞浦に漂着した。1984年、「空海・長安への道」訪中団がたどった霞浦—西安の約2400キロを踏破した。同じ年、日本真言宗の各本山が協力して青龍寺の跡地に「惠果空海記念堂」を建てた。以来、静さんの訪中は120回を超す。仏教や空海の研究者、各地の僧侶らと交流し、『空海ロード』と名づけたこの道を日中の信者と巡る旅を重ねてきた。「空海を通じて日中の交流が積み重ねられていくことを述べている。」

空海 日中の歴史交流の原点

そして「空海の入唐求法から200年余り。日中の間で當時と

「空海ロード 日中が交流」の見出しが飛び込んできた。日中埠が取り組もうとしていることがこの言葉に集約される。そして、訪問した空海祈念堂の石碑に名前があつた静慈圓氏が登場する。朝日新聞夕刊の「高野山異聞」連載(4)である。



空海祈念堂の遣唐使船模型正門

は逆の流れが生まれている。」と指摘。なぜなら、『空海の帰国からまもなく、唐では仏教弾圧が起きた。禅や浄土系の仏教は後に復興したが、

唐代の密教(唐密)

は、近年、物質的な豊かさから心の豊かさを求め、仏教への関心が高まっているという。「中国人にとって唐の時代は特別。何とか唐密を復興させたいのです」「空海ロード」で、長く日中の歴史交流が行われていたのである。この空海が

は、11月13日と22日、日中友好ブックレットをテキストに女性部学習会を開催、延べ18名が参加し、13日の第1回は、広大な土地と多民族国家の中国がアーネン戦争以来、日本と欧米列強から侵略され続けた歴史をのりこえ、改革経済以降めざましい

「戦後70年の日中関係」をコリア協会大まの中国を学習しました。阪理事長の飯田光徳

11月11日、府連理事会が22名

見学制度を活用して新規受講生

参加して開催され、府連大会から

150年」はどんな時代だった

文化が伝わり、日本が中国から

多くを学んできたことや、経済

発展の裏にある公害問題や格差、

自然エネルギー政策、日中両国

討論し、日本が戦争を放棄したことなどが、中国の改

革開放を推進できた要因

た戦争は無かった。北東

アジアの仲間は平和フォーラムで憲法9条を研究・

討論し、日本が戦争を放棄したことなどが、中国の改

革開放を推進できた要因

た戦争の殆どが侵略戦争で、憲法9条のもとでの

70年は、日本が仕掛けた戦争は無かった。北東

アジアの仲間は平和フォーラムで憲法9条を研究・

討論し、日本が戦争を放棄したことなどが、中国の改

革開放を推進できた要因

た戦争は無かった。北東

アジアの仲間は平和フォーラムで憲法9条を研究・

討論し、日本が戦争を放棄したことなどが、中国の改